



2024年度

第9回看護学科ホームカミングデー・令和6年度同窓会看護学科支部総会

卒業生のキャリア支援として、看護学科ホームカミングデー及び同窓会看護学科支部総会を対面で開催致します。今年のホームカミングデーでは「慈恵の部屋」を開催します。テーマは「慈恵での学びや出会いと今の私」です。是非、同級生に声をかけてみんなで集まりましょう。楽しい一時をご一緒に過ごせることを楽しみにしております。多くの方のご参加をお待ちしております。

2024年11月30日(土) 13:00~15:40

開催場所: **看護学科大講堂、学生ホール**(参加費無料)

招待卒業生: 2023年度(29期生)、2021年度(27期生)、卒後20周年(9期生)

プログラム	内容
13:00	同窓会看護学科支部総会
13:20	ホームカミングデー開会 学長挨拶 松藤千弥 学長 看護学科の現在と展望 北素子 学科長
13:35~	慈恵の部屋 司会:坂木孝輔 成人看護学助教 ゲスト: 森田梓さん(9期生)(旧姓:佐藤) 所属:東京衛生アドベンチスト病院 河辺壮太さん(23期生) 附属病院ICU、本学博士前期課程2年生 興津未優さん(27期生) 多摩立川保健所 (大学院紹介 佐藤紀子 大学院看護学専攻長)
14:35	懇親会
15:25	閉会の挨拶(15:40まで利用可能です)

「第8回看護学科ホームカミングデー・令和5年度同窓会看護学科支部総会開催」

2023年10月15日(日)に第8回看護学科ホームカミングデーと令和5年度同窓会看護学科支部総会をオンライン開催しました。同窓生の参加は62名でした。

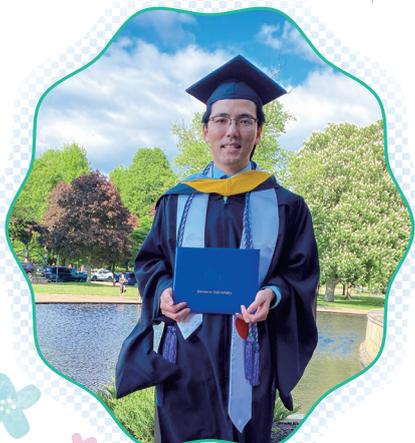
看護学科支部総会では、活動報告、会計報告が行われ、支部役員は昨年度より継続となりました。

今年度の看護学科ホームカミングデーのテーマは「コロナ禍を経て輝く私の看護」とし、第三病院師長の朝倉真奈美さん(平10)に司会を務めていただき鼎談を行いました。スウィダスキー愛(川戸)さん(平13)(米国サンディエゴ スクリプト病院)は、オンラインの利点を活かし海外から、米国のアフターコロナの現状についてお話をいただきました。また、徳堂早紀さん(平28)(第三病院看護師)からは、コロナ禍での就職と希望ではなかった成人の配属先での看護の奥深さや自己の成長についてお話をいただきました。



卒業生の

現在



◇◇◇ 12期生 吉田 貴普 ◇◇◇
(米国NY州URMC Noyes Health・Nurse Practitioner / hospitalist)

2007年の看護学科卒業後、第三病院で6年勤務し、その後北海道の大学院へ進学し、修了後診療看護師/慢性疾患看護専門看護師として羊蹄山の麓にある倶知安町にて3年間勤務しました。その後はアメリカへの看護留学を諦められずに、2019年にアメリカに留学し、約2年間Community College(日本でいう短大)にてアカデミックの英語や解剖学等のクラスを取った後、New York州のNiagara Fallsの近くの町にあるNurse Practitioner (NP)の大学院に進学し、昨年12月に無事修了しました。現在は卒後1年間与えられるインターンシップの最中です。Community Collegeではルームメイトのいざこざに巻き込まれ警察沙汰になったり、コロナに見舞われるなど、どうなるかと思った留学生活でしたが色々な人に支えられここまで来ることが出来ました。大学院では卒業後も付き合うことが出来る友達もでき、充実した生活を送れました。

現在病院で診療看護師として勤務していますが、日々第二外国語での患者とのやり取りは簡単なことではなく毎日必至に食らいついています。その一方、日米の医療システムの違いとして日本では看護師が行っている業務を更に細分化し、看護学生を看護助手として積極的な活用をしているなど、日々新たな発見があり楽しく過ごしております。看護師は主に患者のAssessmentや配薬、准看護師や看護助手の監督にあたります。また日本ではまだ認められていないNPとして実際に勤務することで、自分が日本でNPとして勤務していた際にどうしたら良かったかなどの点においても、気が付かされる点が多々あります。

将来的にはこちらで博士号まで取得し、いずれ日本の看護の為に自分が学んだことを還元できればなと思いつつ過ごしております。簡単な道のりではないからこそ、ここまで来ることが出来た自分に自信を持ちつつ、色々と学び一臨床家として成長していければと日々精進しています。

◇◇◇ 22期生 春日井 尚子(旧姓:藤本) ◇◇◇

足立区教育委員会 保健師

最初に配属された部署である保健センターでは、担当地区の母子、精神、成人、難病等、様々な分野の相談を受けていました。保健センターで4年間地域保健に従事した後は、保健師5年目になるタイミングで教育委員会の事務局に異動し、現在は学校保健に携わる仕事をしています。近年は生活様式の多様化により子どもの肥満や視力の低下等の様々な健康課題が生まれており、現場の養護の先生と協働して現状を共有し、対策について検討しています。

保健師の仕事内容は事業の企画・運営や地域の健康課題についての検討など多岐にわたります。自分の力不足を感じる毎日ですが、先輩保健師や住民の方から多くを学び、成長を実感する日々を送ることができています。

現場で様々な経験をさせていただく一方で、まだまだ熟練した保健師のノウハウや活動結果のデータが研究として蓄積できていないことも感じます。また逆に、先行研究を実践に活かすことも、担当業務の多忙さや、研究論文へのアクセスの難しさ、コストの問題などのためになかなかできていない現状にあります。実際に、私自身が個別のケース対応のために、保健師の基本である全体を俯瞰してみる視点が抜けてしまうことは度々あります。

大学を卒業後、これまでに蓄積されたリサーチエビデンスを現場での活動に活かしたいという思いを持っていましたが、日々の業務のなかでつい忘れてしまいそうになります。今回のホームカミングデーのお知らせを耳にし、学生の頃に抱いた初心に立ち返り、身の引き締まる思いです。また、同時に大学の講義の中で基本となる理論や実践について学び、病院ではなく地域という場だからこそできる可能性を感じ、とてもわくわくした気持ちを思いかえしました。今後も、よりよいアプローチ方法を探求し続けるとともに、保健師としての専門性を高めてまいります。



4月 卒業生シンポジウム「生涯発達とキャリア支援」

同窓生がシンポジストとして自身の卒業後のキャリアについて、在校生に向けて講話をしました。在校生はとても興味深く聞いていました。

12期生 保木本あづささん(旧姓 常田)(附属病院 がん看護専門看護師)

17期生 小川桃子さん(旧姓 大島)(越谷市 保健師)

26期生 田中望さん(ウィル訪問看護ステーション 看護師)



募集
します

支部通信に掲載しませんか?

自身の近況や活動を支部通信に掲載したい方がいましたら左記まで連絡をお願い致します。

▶▶ 連絡先:noriko_a@jikei.ac.jp(基礎看護学 青木紀子)



看護学科 公式 SNS
ぜひフォローをお願いいたします

 <https://x.com/JikeiunivKango>



 YouTube

https://www.youtube.com/channel/UC-YawoDzFFqOf_sFr6400_A

